## 2014 JUA/EAU Resident Programme 参加報告

鈴 木 英 孝(北海道大)

2014年4月11日~15日にスウェーデンのストックホルムで開催されました29th annual EAU Congress に、The JUA/EAU Resident Programmeの一員として参加させていただきました。私としては、初めての国際学会参加ということで緊張と不安が強かったのですが、私が興味を抱いている泌尿器悪性疾患に対する腹腔鏡手術・Robotic surgeryについて最新の情報を学ぶ機会としたいと考えていましたので、高鳴る期待を併せ持った中での参加となりました。

JUA/EAUにご配慮いただき、学会参加費の免除、滞在費の負担をいただきましたこと、さらに ESU course という講義を格安で受講させていただいたことに、この場をお借りして御礼を申し上げます.

会期中は泌尿器悪性疾患全体を網羅するように、各種セッションの口演発表・Video session を拝聴・拝見させていただきました。Robotic surgery の発表がとても多く、各疾患にわたり Robotic surgery が標準化してきていると実感しました。どのセッションにおいても、各国の泌尿器科医が積極的に意見を交わしており、国際学会の熱い情熱を感じることができ、強い刺激を受けました。ESU course では各種疾患の基本的知識・診断・治療・follow up、そして最新の知見までをも組み込んだ系統的な講義を拝聴でき、自分の中での知識の整理ができたのと同時に、北海道大学病院・各種関連病院での臨床経験、そして日本で開催されてきた各種学会での知見は世界基準であるということも実感しました。今後も世界の知



識・情報を日本に還元すると同時に、日本から世界へ発信していくという情熱を持って、日常診療を続けていきたいと思います。

このような貴重な機会を与えてくださった JUA/EAU の皆様、参加を勧めていただいた北海道大学腎泌尿器外科学分野 野々村 克也 教授、ならびにご協力をいただいた同教室員の方々に、再度厚く御礼を申し上げます。今後もこのような機会を日本全国の resident に与えていただけるよう継続していただければと思います。

最後に、この Resident Programme にともに参加した 慶應義塾大学病院 小幡 淳先生、東邦大学医療セン ター 佐倉病院 内海 孝信先生との交流を深めること ができましたことについても感謝いたします. ありがと うございました.